

議 事 録

S-F3

公開 可 否

配布先		主催		No.	
議事録名 平成30年度第1回 佐久市地域包括支援センター運営協議会		部長		次長	
		承認	事務局	記録者	
日	時	平成30年8月2日		開催場所	佐久市役所南棟
				時間	13:30～14:40
出席者	和田裕一、矢羽田明美、金澤秀典、甘利光治、今牧健之、伊藤雅章、小平實、田島弘、花岡文夫、丸山景子、佐々木公二、仁科隆子、白石真紀				
提出資料	地域包括支援センター運営協議会会議資料				
(報告事項) (1) 地域包括運営事業関係 ア 平成29年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算報告について イ 平成30年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について (2) 生活支援体制整備事業関係 ア 平成29年度生活支援体制整備事業報告及び収支決算報告について イ 平成30年度生活支援体制整備事業計画及び収支予算について ウ 平成30年度地域包括支援センター第2層協議会開催予定について (3) 地域包括支援センター運営事業者募集について (4) その他 (質疑応答) 1 開会(山崎課長) 山崎課長 役員改選により交代された委員紹介。居宅介護支援事業者連絡協議会会長、渡辺委員さんから佐々木公二委員さんに変更。 本日 保健補導員会の中條委員さんより欠席のご連絡をいただいている。 2 あいさつ(金澤会長) 3 協議事項 金澤会長 はじめに、本日は傍聴希望者が2名いるが、入室を許可してもよいか。 (異議なし) 金澤会長 それでは傍聴人の入室を許可する。 (傍聴人入室) (1) ア 平成29年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算報告について 事務局説明 資料2 金澤会長 ただいま事務局より説明があったが、質問等あるか。 伊藤委員 報告の中でネットワークという話があったが、例えば高齢者が施設へ入る場合、地域包括支援センター(以下、センターとする。)を通さず、入居することができるのか。また、報告はどこまでされるのか。 金澤会長 介護認定を受けていない高齢者が施設へ入る場合という意味合いでよいか。 伊藤委員 認定の有無はわからない。 金澤会長 認定の有無にかかわらずということでしょうか。 仁科委員 介護認定を受けている方で、家族等が直接施設へ申し込み入所した場合、全てがセンターへ連絡が来るのではなく、全ては把握していない。施設にも様々な種類があったり、施設を入退所されている方もいる。有料老人ホームに入居されている方で、要支援1・2の方には関わりがあるが、要介護認定者でケアマネジャーがプランを組んでいる場合は、どなたがどこの施設に入っているかまでは把握できていない。私たちが入所に関して許可を出すなどの立場ではない。					

- 金澤会長 要は、個人的に施設入所ができるということですね。
- 伊藤委員 区長は、誰がどこに行ったかわからない。センターとのコミュニケーションというか、つながりはないということか。
- 仁科委員 コミュニケーションはとても大切なので、民生委員の集まりや、地域のいきいきサロン等の住民が集まる場所には顔を出させてもらっている。高齢者の相談窓口としてのPRを行っている。
- 伊藤委員 田舎だと、認知症になると「家の恥」という考え方がいまだにある。プライバシーや個人情報の問題もあるが、家族も施設に入れたことを言っていない。地域が把握できないことが多々ある。できれば、民生委員を通してでもいいので連絡をいただきたい。区費やら会費やらの関係もある。
- 仁科委員 施設に入ったことが確認できた場合には、家族より地域の方へお知らせしてもらうようお願いしている。
- 山崎課長 ネットワークづくりはセンター中心に行っているところであるが、全てを区長さんを通してという仕組みは構築されていない。ご家族を通して地域でのネットワークが構築できるようにセンター含め対応していきたいと思っている。
- 金澤会長 要支援の認定を受けていない元気な高齢者の生活実態についてはどの程度把握されているのか。センターが全て把握しているということはないですね。
- 山崎課長 民生委員さんに高齢者の実態把握調査を6月に実施してもらい把握している。その中で、心配なケースについては市やセンターへ相談してもらっている。調査票には緊急時の連絡先も記載してあるので、万が一の時には警察等に情報提供をしている。
- 小平委員 ふれあいサロンの運営に、センターの方にはご協力していただいている。資料P44に切原ポストサロンの記載があるが、内容について教えてほしい。
- 鷹野(白田包括) 切原ポストサロンとは、生活支援体制整備事業の中の、地域包括ケア協議会において、地域の中で高齢者の集まれる場所を作ろうということで、切原の郵便局を借りてサロンを立ち上げた。2か月に1度年金支給日に合わせて行っている。足の問題もあるので、歩いて来られる近隣の方しか来れない。場所も狭いので毎回7～8人程度の参加である。内容は血圧測定、健康相談、マッサージ、お茶を飲みながらおしゃべり等。
- 金澤会長 ポストの意味がわからなかったが、郵便局という意味だったのですね。

(1) イ 平成30年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について

- 事務局説明 資料3
- 金澤会長 委員の皆様からご発言あるか。基幹包括支援センターが設置されたが、国の指導があったのか。佐久市独自か。
- 山崎課長 基幹包括支援センターについては、各地域包括支援センターを統括するセンターを設置することができるという国の指針があり、佐久市においても、地域包括支援センターの適切な運営のため、基幹包括支援センターの設置に向け準備をしてきた。今年度主任ケアマネを配置し、3職種配置することができたので正式に基幹包括支援センターとして報告することができた。
- 金澤会長 今までに比べて良くなることはあるのか。
- 事務局 今まで包括支援センターの指導は高齢者支援係で行っていた。今年度3職種が揃うことで、ケアマネジメントの視点や、居宅介護支援専門員の指導や適正化等、地域支援事業の更なる深まりを感じている。今年度は初年度ということで、各包括支援センターとも相談しながらあり方を検討していきたいと思う。
- 丸山委員 報告書と計画書で見比べた。要支援者は減ったけど事業対象者が増えたとか、電話相談が格段に多いところなど差が見受けられる。限られたスタッフで対応することは大変だと思うがどう考えているか教えてほしい。
- 金澤会長 5つのセンターで業務内容に差があるが、地域性などもあると思うがいかか。
- 白石委員 浅科・望月地域を担当しているが、相談件数は少ないが、要支援者・事業対象者は多い。高齢者の方が相談しづらい環境なのかもしれない。民生委員や区長と連携を取って意見交換等していかなければならないと思った。限られた職員数ではあるが、地域住民に迷惑がかからないよう対応していきたい。
- 丸山委員 対象者が減ったけど増えたということは、大変なことだと思うが、計画には細かく載っていないが、スタッフが回らなければ相談できない、忙しければ「じゃあしょうがないよね」と黙ってしまう高齢者もいると思う。忙しっていると高齢者は遠慮してしまう。相談件数だけではなく、検討課題にして行ってもらいたいのと思う。
- 金澤会長 地域性があるということは以前より指摘されているが、それを是正するためにも今回センターを増やすことになった。
- 田島委員 資料P7の総合相談の中の高齢者の実態把握の項目について、各センターで件数に差が見られるが、業務内容について教えて欲しい。民生委員も高齢者実態調査を通して65歳以上のお宅を回り地域を把握しているが、相談内容を教えて欲しい。

議 事 録

公開 可

S-F3
否

山崎課長 民生委員さんには65歳以上の高齢者の実態把握をしてもらっており、各センターと連携する部分もあるが、それ以外にセンターの方で高齢者の実態についての相談とか、安否確認の相談等が入った場合、実態把握としている。各センターでチェックの仕方の差異もある。

(2) 生活支援体制整備事業関係

ア 平成29年度生活支援体制整備事業報告及び収支決算報告について

イ 平成30年度生活支援体制整備事業計画及び収支予算について

ウ 平成30年度地域包括支援センター第2層協議会開催予定について
事務局説明 資料4・5・6

(3) 地域包括支援センター運営事業者募集について

事務局説明 資料7
金澤会長 いよいよ来年の4月に1か所増設される。それに伴い運営事業者を公募し、審査委員会が設置され2回審査委員会が開催された。3回目の審査委員会においてプレゼンが行われ事業者が決定するということである。その結果が当協議会に報告される。

(4) その他

なし

金澤会長 協議事項が終了したので、傍聴人は退室をお願いします。

(傍聴人退室)

4 事務連絡 市民公開講座開催のお知らせ

5 閉会